

杉戸町

第34号

体協だより

発行/杉戸町体育協会・広報委員会/杉戸町清地2-9-29

「歴史的祭典を目前に控えて」



杉戸町体育協会 会長
古谷松雄

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、昨年も多くの皆様方のご協力のもと、各種スポーツ事業を終了することができましたことを、この場をお借りいたしましたして厚く御礼申

申し上げます。

さて、本年はラグビーワールドカップ2019大会、そして翌年には東京2020オリンピック・パラリンピック大会という世界規模のスポーツの祭典が開催され、また、各大会では埼玉県内の都市も会場地となっております。

ラグビーワールドカップ2019大会では熊谷市の熊谷ラグビー場が、また東京2020オリンピック・パラリンピック大会では、バスケットボールとサッカーでさいたま市のさいたまスーパーアリーナと埼玉スタジアム2002が、ゴルフで川越市・狭山市の霞ヶ関カンツリー倶楽部が、射撃で朝霞

市・和光市・新座市の陸上自衛隊朝霞訓練場が会場地となり、それぞれ競技が開催されます。このような身近な場所で開催されることは、スポーツ人口の拡大、また地域の活性化を図る絶好の契機となるのはもちろん、生涯スポーツや地域スポーツの普及・振興にもたいへん有意義であると考えられています。

この両大会の成功に向け、会場地は元より自治体・企業・学校・各種団体などが一丸となり、一人でも多くの方が「オール埼玉」の一員として、この歴史的祭典に参加していただけることを切に願うところであります。

まさに、これからのスポーツ界は、さらなる発展の時を迎え、日常生活のなかでスポーツに親しむ人々の増加とともに、地域に根ざ

ら進んで楽しみながら運動する機会が着実に増加しています。2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピックも近づいており、これを機に大人も子どももスポーツに親しむ機会が増えることを願っています。

「スポーツに親しむ」



杉戸町教育委員会 教育長
伊藤美由紀

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃よりスポーツを通じた町民の体力向上、地域の社会文化の発展にご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、昨年の当町における小中学生のスポーツでの活躍を振り返ると、7月に

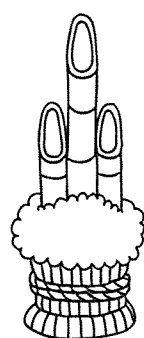
開催された第35回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に杉戸町スポーツ少年団テニス部会より4名の小学生が全国大会へ出場、中学生の部においても、杉戸中学校女子ソフトテニス部、杉戸中学校空手クラブ、杉戸中学校陸上部、広島中学校女子ソフトテニス部が全国大会へ出場するなど輝かしい成績を収め、大変嬉しく思っております。

子どもの頃を思い起こしますと、スポーツ少年団やスポーツクラブ等組織に入会してスポーツを行う体制が十分に整っていた時代ではありませんでした。しかし、今のようにゲームもありませんでしたので、子どもたちのほとんどが、家に帰ると公園や広場に集まって友だちと鬼ごっこや併けりなどをしてかけまわって

遊んだり、放課後の校庭でボール遊びをしたりするなど日常的に体を動かしていたように思います。しかしながら、今では世の中が便利になり過ぎたためか、子どもの生活全体で、日常的に体を動かすことが減少する方向へと変化しており、運動不足になる子どもが増加しているようです。各種スポーツを通して、体を動かすことが大好きな子どもも多くの反面、運動に親しむ機会が少ない子どもも多くおり、子どもたちの運動に対する二極化が進んでいるように感じています。

一方、成人においては、スポーツ庁の調査によると週に1回以上運動している成人が前年と比較して9ポイント上昇し、51.5%と初めて半数を超えたとの調査結果が発表されました。目標としている65%にはまだ達していませんが、健康や体力の増進・維持することを意識し、自

すスポーツ活動として、重要性の高まる取組が求められていることを実感しています。町体育協会も、町民の皆様がスポーツを通じて健康で豊かな人間形成に寄与できますよう、加盟団体との協力・連携を密にし、これまで以上に力を合わせて参りたいと存じますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



結びに、杉戸町におけるスポーツ活動の更なる振興のために、変わらぬお力添えとご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年も杉戸町体育協会をはじめ各加盟団体が一層発展、充実した一年になることを祈念いたしまして年頭のあいさつとさせていただきます。

加盟傘下団体紹介

(順不同)

杉戸町スポーツ少年団

本部長 久保 憲夫

スポーツは、誰でもが好みます。

楽しみ方はいろいろ「見る、遣る」の違いがありますが、中でも一球を追うスポーツは夢中にさせてくれます。

杉戸町スポーツ少年団には、野球、サッカー、テニス、バレーボール、バドミントン、剣道、体操の七種目があります。スポーツ少年団の合言葉、まず参加、楽しくスポーツ、みんなが主役。どの種目にも認定資格をもつ指導者がいて楽しみながら指導してくれます。

少年団は、スポーツを通して青少年の「からだところ」の健全育成の場であり、教育には、学校教育、社会教育、家庭教育の三つの場があるように、スポーツ少年団は、社会教育の場であり、地域の子どもは地域で育てるスポーツを通しての人づくりの場があります。

スポーツ少年団の主役である子どもたちを支え、他人に迷惑をかけない健

康なからだところ、スポーツの楽し

さ喜びをスポーツを通して精神的、身体的な成長はもちろんのこと、多くの方々と集団行動をしていく中で協調性や創造性を養うことができる場として大きな役割を果たしていると思います。

また、小学校卒業と同時に少年団を離れるのは大変残念なことですが、スポーツ少年団活動を通して、多くの仲間たちに恵まれ辛いことや楽しいことを共にした仲間は一生涯の宝物です。こんな大変貴重な経験ができるのも、スポーツ少年団活動の中からではないでしょうか。

保護者、地域の皆さんの協力無くしてスポーツ少年団の発展はあり得ません。今まで以上のご支援ご協力をお願い致します。



杉戸町剣道連盟

会長 横山 久夫

私たち剣道連盟は、現在四つの団体により結成されております。

団体名と活動場所は、杉戸泉剣友会(泉小学校)、杉戸西剣友会(高野台小学校)、杉戸中学校剣道部及び杉戸警察署です。

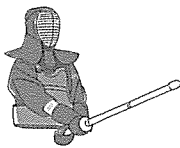
会員は、小学生低学年から高齢の方まで幅広い年齢層で一緒に汗を流しています。剣道は日本古来の武道で昔の武士道精神、剣術を伝承し、今の時代に合ったものとしてきました。剣道は一般的にはテレビ放映等も少なく、子ども達は見たこともないようですが、会員の中には見学に訪れて面白そうだからやってみようとか、親に勧められて入会した子どもや子どもが始めたから親も一緒に始めた方、学生のころやっていて再開した方等があります。

今、社会的な問題である低年齢層による犯罪が発生していますが、剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言うように、当連盟の各団体での第一歩は礼儀作法を教え、先輩・後輩・指導者との繋がりの中で社会人になっても通用する人間形成の道を教えています。そ

して、親からあいさつや正座が出来るようになり、姿勢が良くなったといわれます。

また、数年前にある学者が統計を取り、剣道は頭脳に刺激を与え頭の良い子どもが多いと発表されました。剣道は頭脳を使い、瞬発力が付き身体に非常に良いと言われています。

当連盟の各団体の活動は、杉戸町スポーツ大会、連盟の大会、宮代町との交流大会、スポーツ少年団大会、郡大会等の各種大会や一級までの審査会、スポーツ少年団運動会、寒稽古、暑中稽古、新年の稽古始め、夏合宿等の行事を行っていますので、仲間を作りたい方、少しでも興味のある方は、一緒に汗を流してみませんか。体力増強と健康管理の一助ともなります。



ママさんバレーボール連盟

会長 田沼 統子

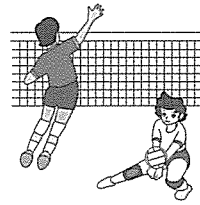
ママさんバレーボール連盟は、現在二チームの登録と数は少ないですが、

互いに協力しながら活動をしています。ママさんとは言いますが、年齢層は二十代から六十代までと幅広く、独身女性や男性も参加しバレーボールを楽しんでいます。毎年連盟で開催している二回の大会には、男性や中学生・親子などの参加もあり、老若男女問わず生涯スポーツとなっています。

また、近隣市町との交流も盛んで親睦大会の招待が多数あり、今年度にも参加し、日頃の成果を存分に発揮することができました。更には六十歳、七十歳へ参加を目指し、意欲を持ってバレーボールを続けていければと思います。そして若い世代のプレイヤーも負けじと、お互いが切磋琢磨して

いきます。バレーボールはチームプレイ。チームプレイだからその出会い、世代間を超えた個性を合わせてチームワークを作る喜びはたまらないものです。一緒にプレイしたい方、ぜひご連絡ください。初心者も大歓迎です。

アライブ 木曜夜間活動
杉野美智子 ☎三三三七七九三
フロード 不定期に活動
桜井秀美 ☎三三三二五八二二



杉戸卓球連盟

会長 坂庭 正憲

杉戸卓球連盟は、平成三十年二月十八日に創立四十周年の記念大会を開催することができました。これは、永い間、この連盟を支えて頂いた会員の皆様方のおかげだと思えます。この場をお借りして、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

さて、杉戸卓球連盟は、本連盟に賛同する諸団体を連合し、アマチュアス

ポーツとしての卓球を健全に普及発展させ、健康の増進を図ることを目的とした団体であり、中央卓球愛好会、泉卓球クラブ、西卓球クラブの三団体から成り立っています。

今年度、当卓球連盟の会員の中から全日本卓球選手権マスターズの部（個人戦）に、埼玉県予選を勝ち抜いて、埼玉県代表として全日本卓球選手権マスターズの部に出場されました。

これは、普段の練習の積み重ねや各大会への積極的な参加により実力アップを図った成果の賜物と考えております。これからも、会員一同切磋琢磨し、各大会に参加し好成績を収められるよう、努力してまいります。

杉戸卓球連盟の活動としては、体育協会主催の毎年九月に開催される杉戸町スポーツ大会（体協祭）卓球大会個人戦で今回は、一三七名の参加により盛大に開催することができました。

内容は、一般の部（男・女）、中学の部（男・女）で、予選リーグで順位を決定しその後、決勝トーナメント（順位別）を実施しました。結果については、体協だより記載のとおりです。

その他、各団体持ち回りで、連盟大会が毎年四回開催されています。

連盟大会は、六月にクラブ対抗団体戦・七月に男女別ダブルス戦・十二月に混合団体戦・二月に地区別混合団体

三ダブルス戦と多彩な戦い方の大会を開催しています。各大会熱戦が繰り広げられ、ハイレベルの緊張感あふれる内容となりました。

杉戸卓球連盟の情報は、ホームページを参照して頂き、今後の試合日程・過去の試合結果・各団体の練習日程・年間行事等さまざまな情報が掲載されています。定期的に更新されますので、ご活用ください。

卓球は、子どもから高齢者まで年齢に関係なく、それぞれの方々の目的に応じて楽しめるスポーツです。

卓球に興味がある方は、左記の卓球クラブを、ご自由に見学ください。

中央卓球愛好会 杉戸小学校

毎週日曜日 午後一時～五時

会長 中里

泉卓球クラブ 泉小学校

毎週日曜日 午後一時～五時

会長 川内

西卓球クラブ 高野台小学校

毎週日曜日 午後二時～五時

会長 内田

ライジボール卓球 杉戸中学校

毎週土曜日 午後七時～九時

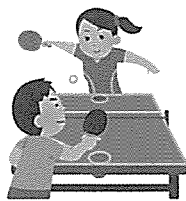
代表 田村

※各学校の行事等により体育館が使用できない場合があります。ご了承願います。

ツ少年団の杉戸ジュニアと高野ジュニア、社会人を中心とした愛好会の三団体で構成されています。

ジュニア団体は、優れた指導者の下で毎年のように県代表として全国大会への進出を果たしています。初心者には、ボールを打つ楽しさ、爽快感からスポーツすることの喜びを感じて貰えるよう指導します。技術レベルが上達してくると、もっと強くなりたいと思うようになります。気持ちを育てることには最も大切なことではないでしょうか。杉戸町は古くから素晴らしい選手を育成してきました。その原点がジュニア指導の在り方だと思います。ジュニアの練習風景をぜひ見に来てください。

さて、愛好会は二十代から七十代までの幅広い年齢の方々が楽しめる環境ができています。練習は、毎週水曜日・土曜日の午前に南テニスコートで行っています。親睦を図るため定期的に行われる愛好会大会は、老若男女をミックスした団体戦で白熱した試合になります。賞品の野菜果物も好評です。競技レベルの向上を目指して、八年前から埼玉県クラブリーグに参戦しています。ダブルス五ペアの団体戦のため、メンバーを集めるのも大変です。昨年男子はリーグ優勝し上位リーグへの



杉戸町ソフトテニス連盟

会長 根岸 資治

私たちソフトテニス連盟は、スポー

昇格を果たし、女子もリーグ準優勝でした。男子はジュニアの時にも活躍した二十代の選手が大活躍してくれました。上位リーグはレベルが上がって、一層の頑張りが必要となります。男女ともにジュニア出身者の参加を期待しています。

ソフトテニスにはシニア大会も盛んで長く現役選手を続けられ、白球を思い切り叩く楽しみもあり、生涯スポーツとして最適であると思います。一緒に汗を流してみませんか。ご連絡をお待ちしております。

杉戸ジュニア

☎三十四一五四〇 大塚

高野ジュニア

☎三二一五七〇一 藤森

愛好会

☎〇九〇一八八五七〇七三二六

大野



杉戸町硬式テニス協会

会長 関 義信

協会は二〇一八年四月現在十三団体

(男子一七六名、女子九十名)で構成されています。事業として運営の大会は春季(五月)、体協祭(九月)、混合ダブルス(十月)、壮年(十一月)を杉戸町広報紙に掲載募集し、南テニスコートで開催しています。毎年多数の方が参加し、練習の成果を競い且つ親交を温めています。又近隣との連絡の他、県大会予選と成る北葛飾郡テニス大会の春・夏の大会を協賛しています。(県大会出場の方は当協会に登録が必要条件と成っています。)

平成三十年は忘れられない年に成りました。①全アメリカで大坂なおみ選手(二十才)がセリーナ・ウィリアムズ選手を二〇のストレート勝ちで初優勝し、テニスの歴史を塗り替えました。錦織圭選手も体調が良くなり上位に戻りこれからの活躍が楽しみです。

②熊谷市が四一・一度の日本最高気温となり体温を超える猛暑が連日続き各地で亡くなられた方が多く出ました。連日TV・当町内放送も水分・塩分を補充し、涼しい所に移動して下さい。熱中症は死に至りますとの放送に驚きました。高血圧対策で減塩生活が続いている為に猛暑中の汗は体内の塩分消耗に補充が間に合わず、就寝中の足首に痙攣が起こり軽い熱中症と教えてくれ

ました。

継続は力なりの言葉をテニス愛好者は大切にしています。テニスは走る・打つの連続全身運動が脚腰を鍛えてくれます。高齢者対象の医学研究結果も過去と変わり鍛錬により筋力は年令に関係なく再生する事が常識と成ります。テニスを永年続けている方は同輩の方より、はつらつとした若さがあります。



体協祭入賞者

テニスはラケットを持てば手軽に出るスポーツでやればやる程奥深く上達を目指して個人で好きなクラブに入会も出来、且つ打球の種類(スピン・スマッシュ・ボレー等々)によりコート上で攻守のフォーメーションは頭も使いボケ防止に最適です。上達により交流の場が広がり年令に関係なく昔話や

アドバイスが出来る楽しみも有ります。健康と友達作りのために年中出来るテニスで人生を楽しみましょう。



体協祭入賞者

杉戸弓道連盟

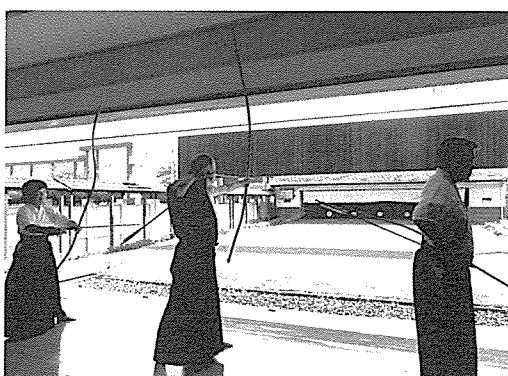
会長 小林 正志

二十八m先の安土と呼ばれる土壁に直径三十六cmの白い的が浮かび上がり、直の上では、天幕が気持ち良さそうに風と戯れている。

凜とした空気で満ちた道場に、白い道着を着た射手達が横一列に坐し、息を潜めている。一人の射手がフツと立ち上がり、顔を的に向け、弓を力強く引き分ける。心身弓が一体となったその時、パシッという弦音、空気を引き

裂く矢、パンと矢が的を射抜いた心地よい空気の振動が二十八m先から届く。日本の武道は「礼に始まり礼に終わる」と言われます。日本の弓道は、その伝統文化を守り続けています。道場では、日本独特の様式美が追求され、喜怒哀楽を体現することさえ許されません。そこには経済合理性を追い求めるグローバル社会とは真逆の悠久の時の流れ、奥深き日本文化が脈々と波打っています。自分自身を見つめ直す環境がそこにあるのです。

凜とした空気感に身を任せてみませんか？違った自分に出会えるかもしれません。



練習日は、次の通りです。

・毎火曜日、第一・第三土曜日
午前九時～十一時 宮代町弓道場

・毎木曜日 午前九時〜十二時
幸手市武道館弓道場
見学希望大歓迎です。

(記 増測 政行)



杉戸町 グラウンド・ゴルフ協会

会長 小原 孝

グラウンド・ゴルフは『いつでも』『どこでも』『だれでも』できる生涯スポーツとして昭和五十七年に鳥取県で誕生し、今では全国各地で多くの人々に愛されています。

杉戸町グラウンド・ゴルフ協会も平成元年に目沼グラウンドで産声をあげ、今年度で三十周年を迎えました。

そして、平成二十七年からは国民体育大会公開競技種目となり、国民的スポーツとして認知されるまでになりました。

また、平成二十七年の最初の和歌山国体に杉戸町からも選手が派遣され、団体戦で五位に入賞された実績は大いに評価されると思います。小原会長のもと十九団体五百余名の会員から構成

されている杉戸町グラウンド・ゴルフ協会の、各団体の練習拠点は、主に国体記念運動公園・目沼グラウンド・倉松公園多目的広場・西近隣公園野球球場等で、毎週二日〜三日ぐらい暑さ・寒さにも負けずに、和気あいあいと世間話に花を咲かせながら、年中無休で練習に励んでいます。青空の下スポーツを楽しみ、交流及び親睦を深め、笑いありで日頃のストレスを発散させ末永く頑張りましょう。

杉戸町グラウンド・ゴルフ協会

会長 小原 孝

☎三三〇九六二



杉戸陸上競技協会

会長 横田 勝利

高校生の長距離選手が憧れである京都、都大路を舞台に行われた第二十九回全国高校駅伝大会に、初めて昌平高校女子陸上部が出場し十八位でゴール。関東勢では、山梨学園高校に次いで二位となり大健闘。第三十回大会は、八

位入賞を目標に、さらに力をつけるために頑張っています。

こうした高校生の活躍に刺激を受け、一般会員にも東京マラソン大会をはじめ、各種陸上競技大会やロードレース大会に出場するなどして、高校生に負けずと活躍しています。

陸上競技と言うと、早く走れる人、高く跳べる人、遠くへ投げられる人がやるものと思いますが、健康スポーツは楽しくやればOKです。

早く走れなくとも、高く跳べなくとも、遠くへ投げられなくとも、楽しめればいいのです。

九月に越谷市で開催された「埼玉生涯陸上競技の集い」に多くの仲間が参加し、地域間の交流を深めて、大いに楽しんできました。この「集い」に陸上競技の愛好者が結束し、生涯スポーツとしてのスポーツ活動はもとより、小中学生いわゆるジュニアの育成や競技力の向上を図るため実施しています。

当協会は、だれでも参加でき楽しめる「申告タイムレース」をはじめ、会長杯ロードレース大会等を実施しています。

人生百歳と言われていることから、当協会も今後は、生涯スポーツに力を入れ、マスターズ陸上や子どもからお

年寄りまで楽しく走ったり、歩いたり気軽に多くの方が参加できる大会を企画していく予定です。

健康増進するためにジョギング、マラソン等に少しでも興味をお持ちの方は、走友会が、毎月第2、第4日曜日の午前7時から倉松公園と西近隣公園において練習会、記録会を行っていますので、気軽に参加してみませんか。

連絡先 横田 公三 四〇九五六
真山 公三 四一六六九二



杉戸町 ソフトボール協会

会長 田中 敏夫

新年あけましておめでとうございませう。

昨年度に於いて、グラウンド不良等発生して順延がりましたが、年頭計画を消化し、大きな事故もなく終了することが出来ました。

協会加盟チーム減少の中、十二チームで大会を楽しんでいます。生涯スポーツであり、ソフトボールも高齢化が進んでおり、事故対処としてAEDをグラウンドに設置貸与を体育協会で承認していただき、事故発生時の応急処置としての体制を整えていく方向です。

昨年度より春季大会を、井上名誉会長杯冠大会として、第一回優勝カップ争奪戦を繰り広げました。

六月には、土屋旗東予選会を、杉戸町西仮グラウンドを会場として近郊市町村から多数の出場を頂き県大会出場五チームをめざし実施されました。

当協会スタッフも、万全の準備を行い外部役員さんより立派なグラウンドとお褒めのことを頂戴いたしました。協会加盟チームも出場し見事県大会に

駒を進めました。また県大会では、三位という成績を残し大健闘しました。九月には体協祭ソフトボール大会、女性の参加が減少する折、特別ルールとして女性の不足チームは、高齢者が常時試合に参加出場していただく大会にしました。同世代グループ大会として、スローピッチ投法の正式ルールの大会も併用し、大いに楽しんで盛り上がりました。



秋季大会も、順延もありましたが、無事終了することが出来ました。

十一月には最終大会であります、杉戸町宮代町親善大会を杉戸町西飯グラウンドにて開催され両町親睦を深めました。四十一年という長い歴史ある大会

を今後も継承していく所存です。

広いグラウンドで大声を出し、走り、攻める、守る、楽しくプレーし、時にはプレッシャーも感じ、日頃のストレスを発散しましょう。

皆様！メンバーを集めて協会加盟して、楽しみましょう。

なんでもいっから本気でやってみよう。きつと楽しいから!!



杉戸町サッカー協会

会長 白石 猛

七月十六日未明、二〇一八ロシアワールドカップ決勝でフランスが決勝戦初出場のクロアチアを破り、二度目の優勝を果たしました。我がサムライブルージャパンは、予選を突破しましたが、強豪ベルギーの前に惜しくも屈することになりました。その戦いぶりは、賛否両論いろいろありましたが、少なくとも決勝トーナメントのベルギー戦は多くの人に感動を与えるものとなりました。今年サッカー協会は、皆様のおかげ

をもちまして創立三十年となりました。

サッカーを通して町の発展に寄与するということで、少年から社会人までの各カテゴリーごとに活動を続けてまいりました。高校では昌平高校が埼玉県の強豪校の一つとなり、このところ連続で全国への切符を手にしていきます。中学校でも杉戸中、広島中が県大会へ出場しています。社会人では杉戸クラブが現在、県リーグ二部に所属しています。これは、少年の部からの地道な積み上げの成果であります。

さて、どこの協会にも言えることかも知れませんが、サッカー協会も年々会員数が減少してきています。特に少年の減り方が著しく、来年度は組織としての活動が危ぶまれる団体もあります。この会員数問題は県の社会人サッカー連盟でも同様で、かつては加盟が五百チーム以上あったのに現在は三百チーム余りとなってきています。人口減という仕方ない問題もありますが、価値観の違いも無視できません。それが証拠に、県内のある市ではJFA(日本サッカー協会)へ公式に登録せず活動しているチームが百チームほどもあるという話を聞きます。

近年、サッカーは攻守が激しく入れ替わるなど、益々スピードを要求され

てきています。一方で、のんびりと純粹にボールを蹴りたいという人の存在も忘れることはできません。こうした世相を見極めつつ私達杉戸町サッカー協会は、サッカーの普及・発展のために、いろいろな人々のニーズに添えていく必要があると考えます。

サッカーに興味・関心のある方、ボールを蹴ってみたいと思っている方、どうぞ気軽にお声がけください。今の自分にできる範囲でよいのです。いっしょにボールを蹴りましょう。連絡は杉戸町教育委員会社会教育課スポーツ振興担当までお願いします。

汗を流しつつ伝統武道を重んじ、厳しい稽古の中から相手を思いやる心を育てています。稽古の成果を発揮する場として、五月に埼玉県大会、十月に杉戸町体協祭空手道大会、二月に北葛飾郡空手道大会、その他各連盟主催の大会に参加しております。特に埼玉県大会において、上位に入賞しますと強化選手に選ばれます。強化選手より選抜された選手が、埼玉県代表として全国中学空手道大会や、国民体育大会へ出場致します。今年度においても当連盟より、全国中学空手道大会及び国民体育大会へ出場し活躍しました。大会では「形」及び、「組手」の二種目で試合が行われます。



杉戸町空手道連盟

会長 荒川 尊祐

私たち杉戸町空手道連盟は、「公益財団法人全日本空手道連盟」の傘下の埼玉県空手道連盟に所属している団体です。会員は幼年から七十代のシニアと幅広く、皆で心地良い汗を流しています。

「形」はさまざまな敵との戦いを想定し、決められた技(受け、突き、蹴りなど)を、決められた順番で繰り出し、気迫と基本の忠実を競います。「組手」は二名の選手が所定の試合時間内でお互いに技を自由に出し合い、優劣を競います。繰り出した技を、急所に当たる寸前で止める(寸止め)のルールで行われます。尚且つ身体を保護する安全具の装着も義務化されており、老若男女問わず多くの選手が参加し、大会を盛り上げています。

この様に空手道は、相手を思いやる

心を育てる、「人間形成」としての教育でもあり、心地良い汗を流せるスポーツでもあります。みなさま是非、普段とは違う空間に身を置き、心身のリフレッシュの一つとして空手を始めてみませんか。

主な活動場所
 禅心館 代表 増田 正三郎
 杉戸町遠野
 白水修養館 代表 荒川 尊祐

杉戸町バスケットボール協会は、今年創立三十一年目を迎えました。今年一回ではありますが、杉戸町バスケットボール大会（体協祭）を主管しています。大会参加チームは横ばいですが全体のレベルは上がってきており、県外や遠方からの参加チームも出てきました。

今年には中学校男子六チーム、女子四チーム、高校・一般では町外からの参

杉戸町バスケットボール協会
 会長 田中 憲一

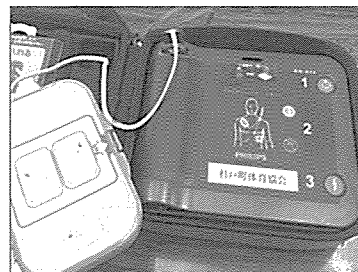
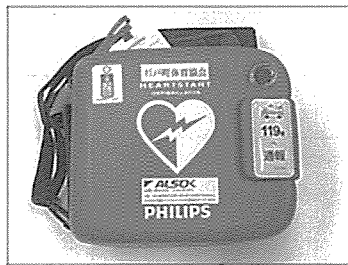
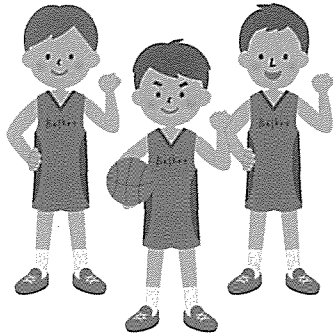


加を含め男子二十二チーム、女子四チームで、二日間熱戦が繰り広げられました。総参加人数は、四〇〇名を超えていました。

昨年度から駐車場に消防署とすぎとピア、役場のご協力をいただきスムーズな運営ができました。また、会場となりました杉戸中学校、広島中学校の皆様、杉戸高校の皆様にご感謝を申し上げます。ありがとうございます。

バスケットボールはハードですが楽しいスポーツです。やってみませんか。

連絡先 田中 憲一
 ☎〇九〇―二九三〇―二九八



杉戸町体育協会に加盟する団体やスポーツ少年団等が開催する大会や教室などで、参加者が心肺停止になった時に速やかに救命活動ができるよう、AEDの無料貸出を始めました。

問合せ：社会教育課 スポーツ振興担当 体育協会事務局
 ☎〇四八〇―三三一―二二一
 （内線四九三）

「自動体外式除細動器（AED）の貸出」

杉戸町体育協会表彰者

<平成29年度の功労者及び優秀選手を平成30年度総会にて表彰>

(敬称略 順不同)

授賞項目	氏名	所属・学校	表彰推薦理由	結果
町功労賞	松本 武	ソフトボール協会	永年体育協会に貢献 功労賞	
〃	田代 一郎	〃	〃	
町優秀選手	昌平高等学校 サッカー部	サッカー協会	関東サッカー大会 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選	優勝
〃	北村 一真	陸上競技協会	関東高等学校陸上競技選手権大会 男子 八種競技	2位
〃	筧田 涼介	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 男子100m	3位
〃	西村 夏帆	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 女子100m H	2位
〃	小山田 環	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 女子100m H	3位
〃	岩田 芽生	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 〃 女子400m 女子4×400m R	2位
〃	宇和野 陽月	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 女子4×400m R	〃

授賞項目	氏 名	所属・学校	表 彰 推 薦 理 由	結果
町優秀選手	初 見 綾 香	陸 上 競 技 協 会	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 女子4×400m R	2 位
〃	森 田 真 里 那	〃	〃	〃
〃	鈴 木 虎 之 介	〃	学校総合体育大会 埼玉県予選会 男子走り高跳び	2 位
〃	倉 田 羽 七	〃	国民体育大会 埼玉県予選会 女子B100Y H	優勝
〃	江 田 拓 斗	〃	国民体育大会 埼玉県予選会 男子B走幅跳	優勝
〃	村 山 悠 希	〃	埼玉県高等学校陸上競技新人大会 男子4×100m R	3 位
〃	金 井 嘉 哉	〃	〃	〃
〃	七 海 龍 成	〃	関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 1500m	2 位
〃	金 森 遥	〃	全国高等学校駅伝競走埼玉県予選会 女子駅伝	優勝
〃	長 南 咲 楽	〃	〃	〃
〃	上 村 栄 奈	〃	〃	〃
〃	高 澤 友 萌	〃	〃	〃
〃	金 田 理 花	〃	〃	〃
〃	中 根 瑞 稀	〃	〃	〃
〃	鈴 木 ひ ら り	〃	〃	〃
〃	小 松 史 佳	〃	〃	〃
〃	坂 尻 有 佳 理	〃	〃	〃
〃	水 城 伽 奈 子	〃	関東高等学校陸上競技対校選手権大会 女子三段跳び	3 位
〃	宮 内 柚 実	ソフトテニス連盟	全日本小学生ソフトテニス選手権大会埼玉県 予選会 女子ダブルスの部	優勝
〃	杉 本 希	〃	〃	〃
〃	折 原 真 妃	〃	スポーツ少年団関東大会小学生交流大会 5年生以上女子ダブルスの部	優勝
〃	福 原 萌 生	〃	〃	〃
〃	徳 永 梨 結	〃	県総体埼玉県ジュニア(個人)研修大会 高学年女子の部	2 位
〃	目 黒 な な み	〃	〃	〃
〃	上 野 璃 音	〃	県総体埼玉県ジュニア(団体)研修大会 高学年女子の部	優勝
〃	丸 山 結 子	〃	〃	〃
〃	米 山 桃 香	〃	〃	〃
〃	目 黒 ひ より	〃	〃	〃
〃	齋 藤 大 貴	〃	埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交 流大会 4年生以下男子	3 位
〃	米 山 柚 香	〃	埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交 流大会 4年生以下女子	2 位
〃	谷 田 結 衣	〃	〃	〃

第43回 スポーツ大会(体協祭)の結果!!

種目	期日	会場	入賞者(個人及び団体)									
バレーボール (9人制)	9月9日	杉戸小学校 体育館	Aコート 1位 FRODO 3位 金子組 2位 すぎスポ		Bコート 1位 DSSチューリップ 3位 南クラブ 2位 ALIVE							
ソフトテニス	8月26日他	南テニスコート	高学年女子の部 優勝 深澤・川崎 準優勝 目黒・森 3位 郷原・池田 3位 西村・市川	高学年男子の部 優勝 高田・岩本 準優勝 松本・尾花 3位 筒井・青木 3位 木原・吉野	低学年女子の部 優勝 加藤・田部井 準優勝 酒田・笠原 3位 浅倉・水本	低学年男子の部 優勝 小林・関沢 準優勝 木原・本橋 3位 宇治川・原						
剣道	9月23日	高野台小学校 体育館	基本の部 1位 金原 大道 2位 須賀 悠葵 3位 高橋 碧空 3位 豊田 光平	小学生1・2年生の部 1位 小野寺美和	小学生3・4年生の部 1位 松村 柚季 2位 吉田竜太郎 3位 菱谷 芽生 3位 中山 健生	小学生5・6年生の部 1位 松村 紗季 2位 菱谷 雅也 3位 高木 有佑 3位 渡部 美紗乃 渡邊 高也	中学生女子の部 1位 岡本 美乃 2位 小島 見規 3位 大澤 梨花 3位 堀越 柚紀					
サッカー	9月30日他	深輪産業団地グラウンド	一般の部 優勝 四星龍 準優勝 FCマリナ 3位 広島クラブ									
硬式テニス (ダブルス)	9月9日	南テニスコート	男子の部 優勝 藤田 幸夫・浦井 弘造 準優勝 安藤 泰央・河端 孝博	第3位 菅ヶ谷 暢康・佐藤 正幸 第3位 関根 邦仁・山本 尚	女子の部 優勝 小野寺 克江・北浜 富佐子 準優勝 田中 優子・森田 智愛	第3位 佐藤 秀子・中野 みゆき 第3位 山口 美幸・梅沢 智美 コンソレ 優勝 矢沢 隆之・石塚 柊実 優勝 田中 てるみ・柴本 真奈美						
卓球	9月16日	杉戸小学校 体育館	一般男子1位トーナメント 優勝 笹渡 義一 準優勝 坂井 繁明 3位 内田 保美 中里 宣夫	一般男子2位トーナメント 優勝 斎藤 勇 準優勝 濱田 夏輝 3位 越川 高宏 渡辺 邦満	一般男子3位トーナメント 優勝 丸島 勝好 準優勝 新妻 良彦 3位 井川 正孝 岩見 義久	一般男子4位トーナメント 優勝 久本 聖一 準優勝 煙山 浩 3位 中村 文雄 益戸 志郎						
ソフトボール	9月9日	西仮グラウンド	ファーストピッチ 優勝 ソフト愛好会 準優勝 スワゲーズ 3位 清地クラブ	スローピッチ 優勝 高野台西ソフト 準優勝 高野台ファイターズ 3位 杉戸フレッシュクラブ								
空手道	10月21日	高野台小学校 体育館	組手の部 幼年男女 優勝 久保井 新 準優勝 齋藤 大地 3位 堀江 大風 4位 西村 莉緒 敢闘賞 〃 〃 〃 小学3年女子 優勝 廣瀬 楓 準優勝 渡部 佑歩 3位 佐藤 寧音 4位 竹田 希	形の部 幼年男女 優勝 飯島 秀佳 準優勝 西村 莉緒 3位 藤井 萌音 4位 奥貫 好誠 敢闘賞 〃 〃 〃 小学3年女子 優勝 廣瀬 楓 準優勝 町田 日相 3位 渡部 佑歩 4位 佐藤 寧音	小学1年男子 高垣 輝 滝口 翔 水上 諒星 知久 柗真 鈴木 卓太 石川 櫻 小林 來志 町田 志哉 高橋 結希菜	小学2年男子 田中 克憲 西村 龍成 川田 鈴富 小澤 莉久 海老澤 健 小林 大晃 能登 大夢 吉田 慎太郎 澤本 真乙 柳澤 実希	小学3年男子 松本 一心 齋藤 圭 野澤 瑛二 須藤 哲理 稲葉 丈流 菅原 翔大 中嶋 陸 吉野 梨瑚 深井 千尋 野澤 来海 音原 優花	小学4年男子 大西 貫太 奥石 司 野澤 海月 富田 吳維 谷口 優太 小澤 瑞輝 嶋田 雷紀 山本 聡太郎 深井 陽介 小嶋 優哉 小嶋 龍之介 奥石 隼	小学5年男子 森下 遼斗 本澤 卓弥 小林 龍音 金子 慎之介 佐藤 巧望 小久保 優輝 山根 颯斗 滝沢 晃生 廣瀬 歌音 船川 陽香 真帆 詩乃	小学6年男子 坂沼 知広 渡嘉 嘉平 黒岩 新平 岡田 陸斗 土淵 翔唯 伊原 勇斗 非原 悠馬 一般男子有級 江森 規男 渡部 智博	小学1年女子 福沢 心結 齋藤 楓	小学2年女子 伊敷いろは 久保井 杏
弓道	9月1日	宮代町弓道場	男子の部 1位 阿久津勝利 2位 松井 國雄	3位 岡田 学	女子の部 1位 仁尾さつ子 2位 三浦 光江	3位 小川 裕子						
クロス カントリー	9月2日	倉松公園外周	個人1キロの部 優勝 荒木慎一郎 2位 後平 広 3位 岡田 広翔	個人2キロの部 優勝 千葉 亮介 2位 小沼 勝彦 3位 河西 容督	個人3キロの部 優勝 高島 茂 2位 松本 雄司 3位 渡部 博昭	ミニ駅伝(3キロ)の部 優勝 木下 好弘・一條 海人・青柳 翔海 2位 荒木慎一郎・木村 健太・岡田 広翔 3位 金子 里菜・辻井 絢音・新井いろは						
グラウンド ゴルフ	11月6日	国体記念運動公園	男子の部 優勝 久保寺 昇 準優勝 小原 孝 第3位 君 島 宏	女子の部 優勝 松 原 良 子 準優勝 石 井 洋 子 第3位 窪 田 勢 津 子	66打 72打 72打	68打 76打 76打						
バスケット ボール	9月9日 9月16日	杉戸中学校 広島中学校 杉戸高校	高校・一般男子の部 優勝 ウッディーズ 準優勝 サークル 3位 フルスロットル 3位 IWGP	一般女子の部 優勝 サークル 準優勝 MAX	中学校男子の部 優勝 杉戸中A 準優勝 杉戸中B	中学校女子の部 優勝 杉戸中A 準優勝 広島中A						

平成29・30年度 杉戸町体育協会役員一覧

〈会 長〉

(敬称略・順不同)

No.	氏 名	所 属 団 体	No.	氏 名	所 属 団 体	
1	古谷 松雄		5	柿沼 幸美	ママさんバレーボール連盟	
〈副 会 長〉			6	山内いちこ	ママさんバレーボール連盟	
1	田沼 統子		7	伊藤 文男	卓球連盟	
2	大岡 光雄		8	中里 宣夫	卓球連盟	
3	久保 憲夫	スポーツ少年団本部長	9	川内 宏	剣道連盟	
〈理 事 長〉			10	前野 辰夫	剣道連盟	
1	浅井 宰	卓球連盟	11	岩崎 敬方	空手道連盟	
〈副理事長〉			12	吉原 教子	空手道連盟	
1	田中 憲一	バスケットボール協会	13	池田 豊	ソフトテニス連盟	
総 務 会		正 副 会 長	14	久保田茂夫	ソフトテニス連盟	
		正 副 理 事 長	15	宮田 茂	サッカー協会	
		3 委 員 会 委 員 長	16	阿部 学	サッカー協会	
〈理 事〉			17	松本 貴之	男子バレーボールクラブ	
事業委員会	◎ 1	太田 千春	ママさんバレーボール連盟	18	皆川 明彦	男子バレーボールクラブ
	○ 2	根岸 資治	ソフトテニス連盟	19	佐藤 秀雄	硬式テニス協会
	3	須永 幸彦	サッカー協会	20	轟 美奈子	硬式テニス協会
	4	小山 朋夫	グラウンド・ゴルフ協会	21	川上 良子	女子ソフトボール協会
指導育成委員会	◎ 1	飯山 茂	空手道連盟	22	玉井 好子	女子ソフトボール協会
	○ 2	速水 雅幸	野球連盟	23	鈴木 勲	スキー連盟
	3	真山 伸一	陸上競技協会	24	後藤 和広	スキー連盟
	4	石塚 英行	剣道連盟	25	桑原 博充	弓道連盟
	5	関 義信	硬式テニス協会	26	山本芳比古	弓道連盟
広報委員会	◎ 1	荻原 勝典	男子バレーボールクラブ	27	横田 勝利	陸上競技協会
	○ 2	田中 敏夫	ソフトボール協会	28	島田 明彦	陸上競技協会
	3	小林 正志	弓道連盟	29	吉田 教順	スポーツ少年団本部
	4	藤沼 武則	スキー連盟	30	菊池 郁久	スポーツ少年団本部
〈監 事〉			31	吉田 稔	バスケットボール協会	
1	関根 忠勝		32	福島 大志	バスケットボール協会	
2	古谷 恒夫		33	笥田 明	グラウンド・ゴルフ協会	
〈顧 問〉			34	須藤 益夫	グラウンド・ゴルフ協会	
1	小川 伊七					
〈評 議 員〉						
1	岡田 孝行	ソフトボール協会	〈幹 事〉			
2	斉藤 秀雄	ソフトボール協会	1	小林登志子	女子ソフトボール協会	
3	杉原 正美	野球連盟	2	大塚 国夫	スポーツ少年団本部	
4	国井 実	野球連盟				

(◎印は委員長、○印は副委員長)